

# 日本鉄鋼協会記事

## 編集委員会

### 第5回和文会誌分科会

開催日：7月14日。出席者：雀部主査，ほか29名。

1. 27件の論文審査報告がなされ，掲載決定19件，照会后掲載可3件，その他5件であった。

2. 「鉄と鋼」第75年第11号(11月号)に論文12件，技術報告2件掲載決定した。

3. 「鉄と鋼」第75年第12号(12月号)に論文14件，寄書1件掲載決定した。

### 第5回欧文会誌分科会

開催日：7月21日。出席者：南雲委員長，ほか22名。

1. 24件の原稿につき審査報告が行われ，照会后掲載可3件，修正依頼17件，返却4件であった。

2. ISIJ International, Vol. 29 (1989), No. 11に Review 1件と，Regular article 8件の掲載を決定した。

## 特定基礎研究会

### 第1回材料電磁プロセッシング部会

開催日：7月13日。出席者：浅井部会長，ほか27名。

1. 運営方針について

## 2. 特別講演

1) 飛翔体加速技術の現状 日鋼 生田一成氏

2) フラックス添加による溶鋼の脱硫速度に及ぼす誘導攪拌の効果 新日鉄 原島和海氏

## 第1回熱プラズマ研究会

開催日：6月27日。出席者：牛尾委員長，ほか24名。

1. 研究会の進め方について

2. 研究発表

1) 熱プラズマの利用技術 新日鉄 武田紘一氏

2) ティグ溶接における電極の温度測定とアーク溶接現象 大阪大 牛尾誠夫氏

## 高級ラインパイプ研究会

### 第12回BT分科会

開催日：7月21日。出席者：川口主査，ほか7名。

1) Pressure Reversalsの実験結果

2) Drop Weight Tear Testの異常破面について

## 「鉄と鋼」小特集号原稿募集案内

### テーマ：新しい耐熱鋼

原稿締切日 平成元年11月10日(金)

エネルギーの高効率利用を目的とした，超超臨界圧火力発電プラントの実用化にあたっては「耐熱鋼の高強度化」が重要な課題の一つでありました。

わが国においては，過去10年間，タービンロータあるいはタービンブレード材として，新しい高クロムフェライト鋼，あるいは新しい析出強化型オーステナイト鋼などの開発研究が活発に行われてきました。また，これに伴い，これらの鋼の高温における強度，組織などについて，新たな知見がかなり蓄積されたように思われます。

今回，「新しい耐熱鋼」という標題で，対象を超超臨界圧火力発電プラントに関連した耐熱鋼に限定した特集号を企画しました。ケーシング，ボイラー材をも含めた新しい耐熱鋼に関する研究，あるいはそれらと関連した基礎的研究についての論文，技術報告の投稿をお願いいたします。

1. 原稿締切日 平成元年11月10日(金)

2. 発行 「鉄と鋼」Vol. 76 No. 7 (平成2年7月号)

3. 原稿枚数 論文および技術報告とも刷り上り8ページ以内(表，図，写真を含めて本会原稿用紙40枚以内)

(注) 原稿は本会投稿規程に基づいて執筆して下さい。

投稿された論文は編集委員会において審査されます。

4. 問合せ・原稿送付先

〒100 東京都千代田区大手町1-9-4 経団連会館3階

(社)日本鉄鋼協会編集課 特集号係

電話 03-279-6021(代)

(注)投稿時，原稿表紙に「耐熱鋼小特集号」と朱書して下さい。